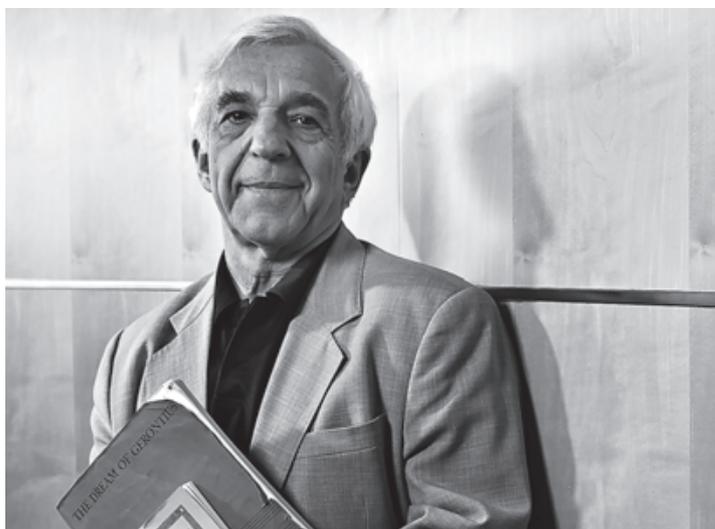


Vladimir & Vovka ASHKENAZY Piano Duo 2016

巨匠アシュケナージと長男ヴォフカの至高のデュオ再び!

20世紀を代表する偉大なピアニストの一人として世界中のクラシック・ファンを魅了し、絶大な人気を誇った巨匠アシュケナージは、近年、指揮者としての活動に専念しており、ピアノ演奏を聴く機会とはほとんどがありませんでしたが、ファンの熱い要望に応じて2009年に長男ヴォフカとの共演によるピアノ・デュオのCDをリリース、2011年には二人のデュオによる日本公演も開催、2014年の再来日公演では、待望の札幌公演も実現いたしました。さらに2015年11月には指揮者として札幌交響楽団の定期演奏会に登場し、歴史的な共演も果たしております。

会場の札幌コンサートホールKitaraにある4台のスタインウェイは、アシュケナージが選定したものです。自身の選定したピアノによる父子ならではの息のあったアンサンブルで奏でる名曲の数々をオーケストラに匹敵する迫力溢れる多彩な響きでお楽しみください。



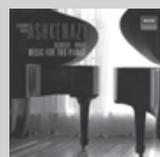
ウラディーミル・アシュケナージ Vladimir Ashkenazy

1955年ショパン・コンクールにて世界にその名を知らしめて以来、ウラディーミル・アシュケナージは、ピアニストとして傑出したキャリアを誇るだけでなく、アーティストとして多彩な活動を積極的に展開し、世界の音楽愛好家に感動を与え続けている。クリーヴランド管弦楽団首席指揮者、ベルリン・ドイツ交響楽団首席指揮者・音楽監督、チェコ・フィルハーモニー管弦楽団首席指揮者、NHK交響楽団の音楽監督を歴任、2009年1月よりシドニー交響楽団の首席指揮者・音楽アドバイザーに就任。また、桂冠指揮者を務めるフィルハーモニア管弦楽団、NHK交響楽団、アイスランド交響楽団や、ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団、サンフランシスコ交響楽団などの指揮台に定期的に登場している。またEUユース・オーケストラの音楽監督も務め後進の育成にも力を注いでいる。ピアニストとしてのアシュケナージは、舞台を主にレコーディング・スタジオに移して、1999年グラミー賞を受賞したショスタコーヴィッチ「プレリュードとフーガ」や、バッハ「平均律クラヴィーア曲集」、ラフマニノフのピアノ作品全集、ヴォフカ・アシュケナージとのデュオ作品集などに見られる様に、多彩で広範囲にわたる作品の録音に、献身的に取り組んでいる。



ヴォフカ・アシュケナージ Vovka Ashkenazy

モスクワ生まれ、アイスランドと英国に育ったヴォフカは、幼少よりピアノをはじめ、やがてロイヤル・ノーザン・カレッジにてスラミータ・アロノフスキーに師事。1983年にバービカンセンターにて、リチャード・ヒコックス率いるロンドン交響楽団とチャイコフスキーのピアノ協奏曲第1番を共演しロンドンデビューを飾って以来、多岐に渡る活動を繰り返している。近年では、セミヨン・ビシュコフ、マルティン・フィッシャー＝デイスカウ、スタニスラフ・スクロヴァチェフスキらと、ハリウッド・ボウル、シドニー・オペラハウス、ベルリン・フィルハーモニーなどにて共演。室内楽奏者として、ヴァシリス・ツァブプロロス、レイキャビク木管五重奏団、デミトリ・アシュケナージらと共演、録音も行っている。ウラディーミル・アシュケナージとのピアノ・デュオとしてデッカより2009年にリリースされたフレンチ・デュオ作品集は、各方面から高い評価を得ている。コンサート活動の傍ら、オーストラリア、デンマーク、イギリス、ギリシャ、グアテマラ、アイスランド、ノルウェー、スウェーデン、米国などでマスタークラスを開催するなど、教育活動にも力を注いでいる。



ウラディーミル&ヴォフカ アシュケナージ
ロシアン・ファンタジー / 2台ピアノのための作品集Ⅱ
CD: UCCD-1304 (ユニバーサルミュージック) ¥2,880 (税込)
●ムソルグスキー: はげ山の一夜 ●ラフマニノフ: 2台ピアノのための組曲第1番ト短調(幻想的絵画) ●グリーンカ: 幻想的ワルツ ●スクリャービン: 2台ピアノのための幻想曲 ●ボロディン: 歌劇《イーゴリ公》から〈だったん人の踊り〉



ウラディーミル&ヴォフカ アシュケナージ
ドビュッシー&ラヴェル / 2台ピアノのための作品集
CD: UCCD-1248 (ユニバーサルミュージック) ¥2,880 (税込)
●ドビュッシー: 白と黒 ●ドビュッシー: パレエ音楽「遊戯」 ●ドビュッシー: リングラハ ●ラヴェル: 「耳で聴く風景」～鐘が鳴る中で ●ラヴェル: スペイン狂詩曲 ●ラヴェル: ラ・ヴァルス・舞踏詩